



掛下 哲郎 准教授が情報処理学会 学会活動貢献賞を受賞

【概要】

情報部門の掛下 哲郎 准教授が、情報処理学会より 2019 年度学会活動貢献賞を受賞しました。同学会発行の論文誌「デジタルプラクティス」の論文査読を通じた学会への多大な貢献が評価されたものです。

【本文】

情報部門の掛下 哲郎 准教授が、「デジタルプラクティスへの査読貢献」により情報処理学会・2019 年度学会活動貢献賞を受賞しました。この賞は情報処理学会の特定分野の運営、または会員サービスの向上等に関して貢献した個人、または組織のうちから、毎年 5 名以内を選定して贈呈されています。

掛下准教授は、情報処理学会が発行している実務家のための論文誌「デジタルプラクティス」に投稿された論文の査読を数多く担当し、審査例の積み上げと審査基準の確立を通じた学会活動への多大な貢献が評価されたものです。

2019 年度学会活動貢献賞の表彰式は、情報処理学会 2020 年度定時総会（2020 年 6 月 3 日）において行われる予定でしたが、あいにく新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

情報処理学会 学会活動貢献賞 <https://www.ipsj.or.jp/award/kouken.html>

